



< 城陽障害児者生活労働センター ‘うおーく’ >
 〒610-0121 城陽市寺田垣内後69-1 TEL 0774
 -55-5583
 メールアドレス mnakama@khaki.plala.or.jp
 < 下大谷施設 >

25年分の感謝をこめて

当時、城陽駅前商店街にあった生協の2階の一室で、“第1回春を呼ぶ大バザー”を開催しました。売上は数万円。それでもつくる会員は手を叩いて成功を喜び、関わってくださった方々に感謝していました。初めて10万円を超えた時には、涙を流して喜びあいました。あれから25年。会場は福祉センターを経て、文化パーク城陽へ。売り上げも何倍にも増えました。何よりも、私たちの願いの実現のために、たくさんのボランティアさんに支えられ、たくさんの市民の方から物品提供をしていただき、たくさんの商店主の理解のもと、ポスターを貼っていただき、そしてたくさんの方に会場に足を運んでいただきました。感謝してもしきれないくらいの気持ちでいっぱいです。

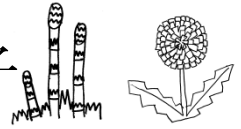
25年の間に、たくさんの願いがあり、それを少しずつ実現させてきました。「みんな仲間教室」が3人の通所者で開所をしたのは、平成3年のこと。通所者の増加とともに寺田東の口のアパートが手狭となり、市内を転々としながら、久世下大谷に事業所を構えられたのは、平成8年のこと。久世下大谷施設だけでは手狭になり、寺田垣内後に中古物件を購入し、事業をスタートさせたのは平成14年のこと。今の放課後等デイサービスの先駆けとなる、長期休暇中の児童の居場所作りとして、城陽市心身障害児介護支援事業をスタートさせたのは平成15年のこと。この間には、当時、日中一時支援事業や移動支援事業等の生活支援事業が無い中、つくる会独自事業“わくわく”を行うことで、障害者の社会参加や家族の休息ができるようになりました。そして、平成17年には、社会福祉法人みんななかまが設立されました。その後、社会福祉法人の事業として、様々な事業がスタートし、現在に至っていますが、私たちの願いは、これで終わったわけではありません。親亡き後の生活の場作りも、これからの大きな大きな課題としてあります。

今回を持ちまして、大バザーを終了することとなりましたが、関わってくださったたくさんの方々から、終了を惜しむ声掛けをしていただきました。「また、何かする時は声をかけてね」とも、言っていただきました。これは、私たちにとって、何事にも代えられない財産として誇りに思うとともに、今まで支えてくださった方々に改めて感謝の気持ちでいっぱいになっています。

(文責 浦田)



みーんなの ことごろの様子



* * amiグループの近況 * *

昨年度は、新人二人を迎え、編成が変わっての9名。医療的ケアの必要な人から自力通所を頑張っている人まで、幅広い実態ではあってもそれぞれがかけがえのない存在としてグループ集団を作っていくことができました。

仕事はもちろん、健康な体作り、おでかけ、調理活動、療育活動、創作活動と、めいっぱいに取り組み、みんなの笑顔、いい表情の写真が残っています。

メンバーも職員も共に働く仲間、つながり合い、育ち合いながらの1年でした。

時には嫌なことがあっても、それを超えられる何かがあるように、これからも日々を大事に積み重ねていきたいところです。

(文責 かの)

* * さくらんどグループひつじ年を体感！ * *

さくらんどグループでは、毎月1回ミーティングを開き、みんなで翌月の予定を考えています。2015年は「ひつじ年」ということで、ひつじにちなんだおでかけをしようということになり、2月に奈良県の山添村にある、ひつじのマスコット作り体験のできる「羊毛館」へ行ってきました。

体験では、羊の毛を活用し、それを骨組みに巻いて専用の針でチクチクと刺して、形を整えていくものでした。仲間と職員と一緒に取り組み、みんな真剣に、地道にチクチクと刺していきました。しかしなかなか難しく、思い通りの形にはなりませんでしたが、まん丸の羊、細い羊などそれぞれ味のある羊が完成しました(なかには昼食で満足して、ウトウトする仲間もいました)。

2014年度は、お仕事もたくさん頑張り、療育活動の中でたくさん感じ、お出かけもたくさん楽しみ、充実した1年となったのではないのでしょうか。

2015年度も、いっぱい頑張り、いっぱい楽しむぞー、おー！！



こんなのできたよー

(文責：中野)

* * フレンドチームの近況 * *

フレンドがA・Bの2グループの大所帯となって早くも1年が過ぎました。色々な障害実態の仲間の混成チームということで、どんな感じになるだろうと不安感が大きかったです。でも、仲間たちは同じフレンドチームの「友達」として、何の違和感もなく、交流し合っています。

職員が考える以上に、仲間は柔軟に適応し合えるんだと思います。

普段の作業は別々で取り組んでいますが、休み時間にはBのメンバーがAの部屋に行き、ワイワイやっています。時には「何か狭いな…！」と思うくらい仲間が集まっていて居心地がいいんだろうなあと思います。お出かけ時には人が多いところでは、迷子にならないように手をつないで歩いていたり、配慮し合う場面が見られて、微笑ましい光景です。

新年度も、それぞれのペースや考え方の違いを認め合いながら、がんばっていけるチームにしていきたいなと思います。

(文責 松本)

* * ほっぷグループの近況 * *

仲間とともに歩んだ一年。仲間が成長した一年。仲間と笑った一年。そんな一年を振り返ってみます。

仕事では、今年も下請け仕事を中心に取り組みました。以前は、調子が悪いと中々仕事に向かうことができなかつたFさん。今では、不調時でも、しっかり仕事の意識を持って取り組めるようになりました。

散歩では、車の通らない道を選んで歩くようにしました。のびのびと歩くことが好きなSさん、Yさん。自分のペースで、時には走り、時には飛び跳ねながら、満面の笑顔で歩いていました。

給食を通じて、すごく変わったのはTさん。元々偏食があつたのですが、職員が「残してもいいよ」と声掛けしても、美味しそうに完食できる日が増えました。みんなで同じものを食べる大切さを感じた一年でした。

毎月1回、一日かけての外出も楽しみました。どこに行くにもみんなの楽しみは昼食。Kさんのカレーうどんを食べている顔は、幸せそのもの。大型スーパーが大好きなTさん。くずはモールに行った時の笑顔を見て、職員もつられて笑顔になりました。家族でもたくさんおでかけをしているNさん。取組でどこに行こうとも、しっかり見通しを持っていたのは、日々の積み重ねの賜物です。

新年度が始まり、若干グループ編成も変わりますが、ほっぷらしさをこれからも大切に、毎日笑顔で過ごしていきたいです。

(文責: 浦田)



ペットボトル回収中止のお知らせ

いつもみんななかまの活動に、あたたかいご支援ご協力ほんとうにありがとうございます。通所者の給与保障とリサイクル貢献にもなればと、ペットボトル回収に取り組み始めて8年になります。

地域の皆さまのご協力の下、通所者も回収・つぶし作業を自分たちの仕事として自信を持ち、暑い日も寒い日もがんばり続けてこれました。

が、この度、市の都市計画道路塚本深谷線の拡張に伴い、寺田垣内後施設の敷地が狭められることになり、置き場所の問題が出てきたことや、ペットボトルの単価が下がったことなどから、ペットボトルの回収を中止せざるを得なくなりました。

勝手なことで大変申し訳ありませんが、

2015年4月より以降回収をストップさせていただきます

こと、ご了解下さいますようどうぞよろしくお願い致します。

なお、アルミ缶、牛乳パックに関してはこれまで同様回収

させていただきますので引き続きご協力下さい。合わせてお願い申し上げます。

・ ○ ・ ○ ・ THANK YOU ・ ○ ・ ○ ・

～様々なご支援 本当ありがとうございます～ (12/1～3/31)

☆ボランティアにきてくださった方々☆

藤本 美代子様	上田 要様	岸田 歩乃実様	山田 珠加様	伊藤 紋名様
圓丘 桃子様	服部 俊子様	棚田 洋一郎様	橋本 峻様	松井 沙耶様
渡辺 玲様	宇恵 礼美様	坂本 華の様	多賀 貴規様	荒木 珠里様
浮守 拓也様	橋本 麻衣様	広瀬 瞳様	徳田 重樹様	北村 桃子様
砂川 敬之様	川本 あすか様	山田 江梨様	江守 彩花様	内藤 きらり様
明石 怜香様	中村 美月様	水野 寧々様	池田 百香様	松島 未那梨様
芦田 祐介様	山本 千晴様	望月 千夏様	ポストレディー様	

☆寄付して下さった方々☆

近砂利組合様・JA 女性部様
 久世小組合様
 岡本様・有馬様・坂根様
 小川原様・谷様・三好様・南村様
 服部様・秋山様

☆製品をおいて下さっているお店☆

NIPPON DINING DIVE 様
 Rencontre 様
 八百忠様
 メディアスタジオ・SANA 様

